no. 133
昭和54年 12/15
アミューズメント通信
ゲームマシン
GAME MACHINE
Semi-monthly Publication
AMUSEMENT PRESS INC.
9-16, kamiyamacho, kitaku, OSAKA 530
DECEMBER 15, 1979 発行所 アミューズメント通信社 編集・発行人 赤木真澄 大阪市北区神山町9-16（山名ビル）〒530 ☎06(314)0309 郵便振替 大阪307852 年間購読料（送料共）7,200円

全国のロボット集合

日本初の試み、11月上旬、科学技術館で

「創造の喜び」テーマに ナムコが全面協力

写真上、下ともに「全国ロボット大会」にて

創っても動かしても楽しいロボットの全国規模での展示会がこのほど東京北の森の科学技術館で開催され、予想以上の成果に今後は毎年開かれることになった。

これは全国のロボット愛好家・研究者から専門の先生までの作品を一堂に集めた日本初の試みで「'79全国ロボット大会」として、十一月三日から十一日まで、科学技術館主催で開催されたもの。AM業界からは、ロボットに長年取り組んできている㈱ナムコ（本社東京、中村雅哉社長）がこれに全面協力、「ラジコンロボット」（手と頭が動き、走り、そして挨拶もするというラジコン方式のロボット）や「綱わたりロボット」（既報）、「怪力ロボット」（バーベルを持ちあげる）など多数会場に持ち込み好評となったが、とくに「ラジコンロボット」は子どもたちの関心をさらったかっこうになった。

このほか会場で披露されたものには、早稲田大学の加藤一郎教授による「ワボット一号」や義手など学術的な見地から作られたものや、人形製作者宮川昇さん製作のからくり人形「花笠音頭」などメカニズムの面白さをついたものなど、趣向もいろいろ。とくに高崎の公務員斉藤斉さんの傑作は廃物を寄せ集めて作った「キーパー君」（高さ一二〇㌢）で頭は金だらいと洗面器、目は車のランプ、耳はじょうろとすべて廃物で出来ているが、火事や地震をいち早く察知して「火事だ」「地震だ」と知らせてくれる。

出品物のほとんどすべてが手づくりであり、まさに〝ものを創る〟という同館の打ち出したテーマと一致していたためか教育関係など中心に大きな関心が集まり、期間中の入場者数約三万人（とくに十一日の日曜日は一万人をオーバーし同館の新記録を樹立）と大成功のうちに閉幕となった。

同館ならびにナムコではこの成功をもとに、まだ隠れた手づくりロボットが全国で生まれていることから、毎年開催の方向で今後は進めるもようである。なおこの催しはNHK総合TVのニュースをはじめテレビ、新聞などで東京中心に数多く報じられた。

写真右は「たるのりロボット」、下は幼児のかいたイラスト展と「仕事ロボット」

4〜8面AMOA特集

JOU例会

13日から北九州で

今年のしめくくり

いよいよ今年もあとわずかとなったが、業界団体の今年最終会合は次のとおり。

全日本遊園協会（JAA、山田俊夫会長）の第39回理事会は十二月六日から伊豆で開かれる予定。

日本娯楽機械オペレーター㈿（JOU、内田博理事長）の十二月例会は十二月十三日から北九州、門司にて開かれる予定。

米国AMOA・IAAPA視察へ本紙主催団など
日本から総勢200人も

AMOAエキスポならびにIAAPAショーを視察するため十一月中に米国を訪れた日本のAM業者は二百名を下らないだろうと言われている。

そのうち大規模なのはAMOA視察のみのセガ社/エスコ貿易グループ（四十七名）とAMOA・IAAPA両方の本紙主催米国AM視察ツアー（三十三名）。十五名まで程度の中規模のものではカワクスグループ、ダイエーレジャーグループがそれぞれAMOA・IAAPA視察、小田急電鉄グループ、京成電鉄グループがIAAPA視察となっており、このほかデータイースト社、テーカン社、大黒堂社などがそれぞれグループでAMOA視察していたが、さらに少数グループが個人単位で訪米していた人もおり、総計すると二百名以上になるものと推測される。

定期的なAMOAツアーとして第四回目の実績を挙げた本紙主催の視察団全行程は10めん掲載のとおりだが、セガ社/エスコ貿易グループの一行や、カワクスグループなども多大の成果を挙げたもよう。とくにAMOAエキスポでは、日本人視察団が数年前と比較して目立って多い、との感想が欧米業者の口から聞かれたが、それを反映してか本紙主催視察団がAMOA機関紙「ロケーション」十一月号に写真入りで掲載され、画期的な記録を残すことになった。

「デュアルII」へ改造など
キット販売へ
セガ社がスタート

㈱セガ・エンタープライゼス（本社東京、ローゼン社長）では、このほど従来機を改造するための「キット販売」を進めることを明らかにした。

これは既存の同社製品を同シリーズの新製品へと改造するためのPCボードその他一式を「キット」の形で販売していくもので、十月にその構想の一部が発表されていたもの。具体的には十一月一日より、同社テーブルTV「スペシャル・デュアル」を「スペシャル・デュアルII（ヘッドオン・パートIIとインビンコの2イン1方式）」に改造するキットを、一セット五万円で販売に入った。同社ではさらに「デュアルIII」へと改造できるキットや、「ヘッドオン」アップライトを「カーハント」へ改造できるキットも販売していくとしており、同社のシリーズものについては実情に見合った改造キットを提供していくが、ゲーム機本体の販売を決して軽視しないでほしいとしている。

なお一方、任天堂レジャーシステム㈱（本社東京、山内溥社長）でもこのほど、同社シリーズものの改造を引受けることを発表している。具体的には同社「スペース・フィーバー」を「同ハイスプリッター」や「スペースランチャー」に改造するもの。

このようなメーカー自体による自社製造品の改造プランは、このほかにも数社が進めており、今後のなりゆきが注目されるところだ。

セガ/グレムリン合同パーティーにて写真左から右へ、ピザタイムシアターのキーナン社長、ソコデメックス社（仏）のゲイヤード社長、セガ社の中山副社長、ローゼン社長、ナムコの中村社長、ナムコアメリカのブターニ副社長、中島社長、アタリ社のバローズ部長

セガ社パーティー
11日夜、シカゴに内外の有力者参集

十一月九日の夜、シカゴ市内のリッツ・カールトンホテルで、セガ社とグレムリン社の合同レセプションが開かれ、内外の有力者が多数参加した。

とくに会場は、セガ社とグレムリン社の代表陣はもちろんのこと、アタリ社のバローズ重役やピザタイムシアターのキーナン社長も顔を見せ、日本の㈱ナムコ・中村社長やセガ社一行も感激を増したもようである。

なおグレムリン社はセガ・エンタープライズの子会社であり、日本のセガ社と同系列会社であるが、AMOAエキスポ前日の十一月八日、シカゴ市内のエセックス・インにて初めて国際的なディストリビューター会合を開いている。この席上セガ社ローゼン氏は、TVゲームが現在世界的に同時流行の傾向にあることを指摘したほか、TVゲームの今後の有望性と著作権保護の必要性を語っている。

本紙主催米国AM視察団一行、左はIAAPAショー会場前にて、右はAMOAショー登録会場にて。なお「ロケーション」紙には右とほぼ同じ写真が掲載されている。

"アストロ"で3社許諾
データイースト、タイトーとは八月に和解

福田社長

データイースト㈱（本社＝東京都新宿区余丁町一〇九、高木ビル、☎三五八—六五八一、福田哲夫社長）ではこのほど同社TVゲーム機「アストロファイター」に関して次の三社に対して製造許諾が成立したことを明らかにした。

同機製造許諾については、オリジナル性尊重の立場から"業界ルール"確立のために行なったものと説明されており、同製造許諾品には所定の「許諾シール」が貼付されることになっている。

①㈱タイトー（本社東京、コーガン社長）、②㈱セガ・エンタープライゼス（本社東京、ローゼン社長）、③豊栄産業㈱（本社東京、松田靖社長）。

なお同社ならびに㈱タイトーによると、タイトー「スペース・インベーダー」についての許諾料支払いに関して、長い間の話し合いの結果すでに八月に"和解"の形で解決していたことが判明した。両社ではともにオリジナル尊重の立場から円満解決したもようである。

「サファリラリー」で
2社許諾
新日本企画

川崎社長

㈱新日本企画（本社＝東大阪市下小阪一二九の一、楠本ビル、☎七八七—二〇五一、川崎英吉社長）では同社TVゲーム機「サファリラリー」に関して㈱タイトー、富創商事㈱（本社東京、菊池俊一社長）の二社に対して製造許諾が成立したことを十二月五日発表した。

川崎社長は本紙に「製造許諾というルールは当然であるが、許諾料をもらう立場になるのは関西初で、とにかく気恥しいやらうれしいやら」と語っており、なお数社との話し合いが進行中であることを示唆している。

大八単独ショー
11月28日から2日間、横浜にて

㈱大八（本社＝横浜市南区井上ヶ谷中町一六一、☎〇四五—七一五—一一〇一、猪瀬秀成社長）では十一月二十八日から二日間、横浜東口のスカイビル八階にてプライベートショーを開催した。

これは先ほどのAMショー出品機をゆっくり見てもらうとともに、試作機「アポロ・ランディング」をも展示したもの。「ギャラクシアン」などAMショー人気機とともに、このショーでは「平安京エイリアン」が注目されたが、「アポロ・ランディング」にも遊びかたなど大いに関心を引いたもようであり、成功裡にショーを終えている。

デコ全国縦断展
11月4日は福岡、23日からは札幌

先ほどのチェスト展示会以後、データイースト㈱共催による同社製品展示会は十一月四日に福岡で㈱チェスト福岡（関芳和社長）が、また二十三日から三日間札幌で㈱デコ札幌（伊坂重憲社長）が主催する形でそれぞれ開催され好評を博した。

これは同社TVゲーム機「アストロファイター」を中心とした新製品展示会で、とくに札幌では好評を得つつあるとはデータイーストの弁。

昇降機講習会
AMから37人

ことしも昇降機検査資格者講習会が十一月六日から四日間、東京と大阪の二ヵ所で開かれ、当業界から東京十四名、大阪二十三名の計三十七名が受講した。

これはエレベーターはもちろん、AM業界側からは大型遊園機械の取扱いで必須とされている検査資格を取得するための講習会で、㈶日本昇降機安全センター（本部東京）主催により毎年開かれているもの。

法人に改組

㈲末大商事（旧・大野商事）＝岐阜市暇町十六の五、☎（〇五八二）七一—三五八四、大野敏治社長。

事務所移転

共和商事＝神戸市灘区篠原南町三の一の十六、☎（〇七八）八八一—一一〇一。

電話番号変更

日邦産業㈱名古屋営業所＝名古屋市中区栄五の八の十四、☎（〇五二）二六三—一二八一。

＊おことわり＊
連載の「ゲーム場ガイド」、「フリッパー・ストーリー」は今回年末号につきお休み。「ジューク・ベストヒット10」は都合により休載です。

論潮
うわさのこわさ

インベーダーブームが一息ついた七月ごろの話である。業界のある有力者が地元の警察本部において「とばく機を取締ってほしい」とある業者たちを名指しして言った、といううわさが一時広まった。実際はそうではなく「インベーダーゲーム機を禁止するとかという理解では困る。むしろ違法なとばく機こそ問題ではないか」と一般的に指摘しただけで、業者の名前など出してはいないのである。

とかくうわさとはいいかげんなものであり、伝わっていく中でどんどん尾ひれがついていき、まったく違った話になってしまう。本人こそ知らないうちに、正義の人はいつの間にか、他人の勝手で密告者にされてしまう場合があるわけだ。しかし事実はひとつであり、いいかげんなうわさ話は無責任に立ち消えるしかないのであるが、こうした話にこそこの業界の恥かしい「現実」があることを、まざまざと知らされるのである。

インベーダーゲームが無意味としか言いようのない社会的非難を受けたとき、業界側としてこれを克服したと言いきれないばかりか、SCの例にあるように、早々と撤去したうえで売り上げ激減を嘆くことなどが多かったと思われる。本当はどうもそのあたりに「問題」があったように思われるのだが、それを手軽るにとらえ、あとは安易な改造へと進まねばならない、などと言うのではますます事態は悪化するばかりと思えるのである。

言うまでもなくこの業界は、機械を開発し提供するメーカーと、プレイヤーを楽しいふんいきで喜ばせるオペレーターと、その中間にあるディストリビューターが相互に信頼し合って業務を進めることによってはじめて安心して「業界の発展」を望むことができるわけであり、その逆の方法は自滅しかありえない。このことをとくと考え、つまらぬうわさや流言飛語に惑わされずに、真実を追求してこそ大発展が必らず生まれるのである。本紙の考えを述べて70年代のしめくくりとしたい。

シカゴで見た米国AM機の主な傾向

ヨーロッパから見れば、ゲーム機や乗物機など日本のAMマシンは驚くに価いするほどの進歩ぶりであるが、いったん目を米国に向けた場合米国のフリッパーは実にめざましい進歩と言わねばならない。それほどまでに米国ではフリッパーの開発が盛んで、オペレーターもフリッパーメーカーの言うなりではないかとの印象を強くしている。

一方TVゲーム機は価格の面もあってフリッパーほどの勢いがない。そもそも日本の繁華街のゲーム場ほどロケーションの内容が充実しているわけではないし、伝統的なフリッパーファンが客の中心だからそんなに売り上げのあがる状況ではないから、よほどでないと高いTVゲーム機は買えないというわけである。

こんな状況にあって米国市場でミッドウェー社「スペース・インベーダー」（タイトーによる製造許諾品）は今までさほど米国内に普及しておらず、これからが本格的ブームになるものと期待されているが、AMOAでは二年続けて高い支持を得たTVゲーム機としても注目されている。二年目に入り、いよいよレバー式へと移るアップライトと、一方カクテル型はだめというジンクスを破りつつあるインベーダー・カクテル型と大きな関心が向けられている。

以上のような状況を背景に、しかも日米欧のコミュニケーションが最近いよいよ急速に密度を増しているところから、日本のずば抜けて人気のよいTVゲーム機に、AMOAでも結果は人気が集まってしまう。それほどまでに良い機械だし、また十分に期待できるというわけなのだ。このことはエレメカマシンにも言えることである。

もちろんアタリ社やシネマトロニクス社など米国の有力TVゲーム機メーカーも、次々と新開発品を発表しており国際的見地から評価されている。その中で、アタリ社「フットボール」から「サッカー」に至るスポーツ模写ゲームが根強い支持を得ていることと、XYモニターを駆使した宇宙ものへの傾斜という二点が主な傾向として挙げられるが、その他にも新ゲームへの意欲が強く感じられたことも事実だった。

スロットマシンなどギャンブルマシンは出品が許可されて二回目のショーとなり、昨年と比べ大幅に内外から出展がありこれらは厳重な管理のもとでそれぞれ注目されたが、その注目の度合いとなるとフリッパーやTVゲームの分野ほどではない。世界的にギャンブル機分野は下火傾向にありかろうじてペイアウトなしのTVポーカーものに人気があると見てよい。

このほか乗物機がいくつか出品されたが、ヨーロッパ程度のものが関心を呼んだぐらいで、さほどのことはない。またジュークボックス分野の下火傾向は勢いを増しており、他方プールテーブルやテーブルサッカーも落ち目といわれるようになってきた。こうして見ると米国のフリッパー、日本のTVゲーム機というのが機械のありかた、ロケーションのありかたとして80年代を歩んでいく世界のAM業界の核になるのではないか――そういうふうに思えてならないのである。

任天堂製品は米国での代理店ファー・イースト社から「シェリフ」などが出品され好評を博した。「ハイスプリッター」「スペースランチャー」も出品し、カクテル型ならぬテーブル型も順調。なおエキシディ社「バンディッド」は業務提携品。

AMOA・EXPO'79

ナムコは絶賛の「ギャラクシアン」アップライト、テーブルを中心に独自出展。エレメカマシン「ゼロイン」とともにTV「ボムビー」なども。ギャラクシアンを体験するにはよほど待たねばならないほどの人気で、"国際人"中村社長もその成果に満足のようすだった。

日本の開発力のすごさ

セガ社は同社系列のグレムリン社の小間でセガ／グレムリンとして出展、驚嘆の声とともに「モナコGP」が米国で発表されたことになる。新ゲームは潜水艦撃沈ゲーム「ディープスキャン」。卓上用キャビネ「ミニ・ビデオ」は要注目。他に「ヘッドオンII」「インビンコ」も出品。またデコ製「アストロファイター」はかなりの人気を集めた。

AMOA・EXPO'79

タイトーはさきごろ大工場となったタイトー・アメリカから出展。「TTスペース・インベーダー」など従来機とともに、新ゲームとして空対艦戦争の「シー・ビクトリー」、ドライブ「スーパー・ロード・チャンピオン」（モデルレーシング社）を出品して、落ち着いた遊びを強調していた。

米国と言えばフリッパー。バリー社はフリッパー部門を今年分離、大きな新工場でフル操業に入っているが、上のデザインは「ボール（フリッパー）の勢いを保ち続ける」という同社最新のシンボルマークである。

国際的にTVへの流れ

ユニバーサルは昨年以来発足したユニバーサルUSAから出展、2度目のAMOA出展である。海外での人気も安定した「ゲッタウェイ」から最新「コスミック・ゲリラ」までTVゲーム機を網羅し、AMショーで発表したTVつきフリッパー「チッキー・マウス」など3点を出品して米国人を驚かせた。

日本物産製品はテキサスに本社を置くIJS社のブースで展示。「レーカー」「トラッカー」「ベース」など同社「ムーン」シリーズTVゲーム機をアップライト中心にデモンストレーションした。インベーダー類似品は同社以外にも多数あった。

AMOA・EXPO'79　AMOA・EXPO'79　AMOA・EXPO'79

《フリッパー》

WMS社など大躍進

ゲーム機の王者といわれるフリッパーの、本場シカゴのメーカーは80年代を目前にして、一段とその勢いを強くした。

そのひとつ。ウィリアムズ社は世界初の〝しゃべるフリッパー〟「ゴーガー」を発表してセンセーションをまき起した。これは音と閃光で好評だった「フラッシュ」の流れをくむもので、「ゴーガー」の場合ボールが一定位置に入り込むと中から怪人の叫びで「ゴーガー」というのが聞ける。同様のシリーズで音楽入りの「レーザーボール」もソフト面がよくて大好評となり、まずは同社の独走というところか。

ゴットリーブ社はキャラクターものの「ハルク」「バック・ロジャース」で巻き返しを図り、「ジーニー」に続くワイドフリッパー「ローラー・ディスコ」と展開した。スターン社も「ビッグゲーム」で同社初のワイドフリッパーを発表したが、これによりフリッパーのワイド化はアタリ社から始まり、ウィリアムズ社、バリー社、ゴットリーブ社、スターン社の順ですべて採用され、すっかり定着したことになる。

なおスターン社は今年ハリー・ウィリアムズ氏が同社への業界復帰して話題を呼んだが、今回の新製品で同氏のデザインによる同社初の製品となった「ギャラクシー」、「ビッグゲーム」は、そういう意味での注目に価するものと言えよう。

バリー社はと言えば、キャラクターものの「ハーレム・グローブトロッターズ」（TV漫画）、「ドリー」（歌手）があるがキャラクター重視のためかソフト面が大ざっぱと言われ、むしろ条件を多くした「フィーチャー・スパ」が出来がよかったように見えた。同社は今年フリッパー部門を分離独立させており、その点での意気込みが強く感じられた。

一方、フリッパーのワイド版を定着させる契機を作ったアタリ社は、昨年同様の巨大フリッパー「ヘラクレス」のみで、フリッパー（カクテル型を含む）中止が表面化した。やはりフリッパーはシカゴでなければならない、という定説を裏付ける形となったわけである。

このほかゲームプラン社がカクテル型から本格版「コニーアイランド」などで気合を入れたが今ひとつ。またスペインのプレイマチック社は従来機「アンター」からピンゴなどギャンブル志向に変りつつある。こうした中で日本のユニバーサルがTVモニターを組み込んだ本格フリッパーを出品したことは、まさに衝撃的ですらあった。なお昨年まで会場を賑わしたカクテル型フリッパーは一段と影をひそめ、出品されたものもあったがたいした関心も引いていないもようだった。

ウィリアムズ社

ゴットリーブ社

ゲームプラン社

しゃべるフリッパー!!
ウィリアムズ社「ゴーガー」

バリー社「フィーチャー・スパ」

AMOA・EXPO'79　AMOA・EXPO'79　AMOA・EXPO'79

《TVゲーム機》

なお有力なアタリ、シネマ社

開発力のすごさを証明した日本のメーカーとグレムリン社を除いて、しかも日本での代理店を通じてすでに発売されているものを省略して、さてTV分野での新ゲーム機は〝より一層楽しめる〟という方向で米国各社により各種考案されているのも事実だ。

そのうち最も注目されたのは、アタリ社「アステロイド」（XYモニター方式の宇宙ゲームで、飛びかう隕石を宇宙船から発射するレーザー砲で砕いていくゲーム。両手操作で、各所に奥行きのあるアイデアが見受けられる）とシネマトロニクス社「テールガンナー」（XYモニター方式の宇宙戦争ゲーム）で、いずれも線の細さがたまらないとの感想。これら両機種とも日本ではセガ社が販売代理する見込みとなっている。なおアタリ社は新しく「サッカー」を発表したが、これは「フットボール」などのスポーツシリーズ最新作。米国市場ではこのシリーズは圧倒的な人気と言われている。

エキシディ社は二人用潜水艦ゲーム「ファイアーワン」のほか、新たに「クリーピー・クラウラーズ」（円状にとりまき攻撃してくる宇宙人を迎撃するインベーダーゲームの変種）、「サイドトラック」（交差するレールに汽車を走らせドットを消すというヘッドオンゲームの変種）、好評「スターファイアー」のミニ版とも言えるアップライト版、任天堂との業務提携版「バンディッド」（シェリフ・アップ）。

ミッドウェイ社は許諾品から「デラックス・スペース・インベーダー」（タイトーのパートIIに相当）、「スーパー・スピードレース」（タイトー・CL5に相当）、「ギャラクシアン」（ナムコ）を大々的にデモンストレーションして好評を博した。

一方、新ゲームでは飛行機戦闘ゲーム「ファントムII」、ドライブ「18ウィーラー」、四人用ボウリング「4Pボウリングアレイ」などがあるが、たいしたことはない。

アライドレジャー社は今年に入ってTVゲームに力を入れだしたことになるが、積み木細工遊びのような「スペースバグ」が抽象的なゲームだがまずまずの出来であるほか、インベーダー亜流の「インベーション」、クレイチャンプのTV版「クレイシュート」、よくわからない宇宙戦争ゲーム「バトルスター」など、努力はよくわかるがもう結構だという内容。

このほかベンチャー・ライン社、ウェスコ・サプライ社、エルコン社などがインベーダーゲームの類似品や改造基盤セットなどを出品していたが、あまり良い感じはしない。

こうして米国のTVゲーム機の実態を見ると、アタリ社とシネマトロニクス社を除いて、TVでなにかコピーしようと見物に行った人にはお気の毒ではあるが、日本のTVゲーム機の水準のほうが米国のそれをかなり上回っていることになる。まあ安易なコピーやコピー改造で市場を低迷させてしまうことのないよう冷静に全般を考えてほしいと思った次第である。

アタリ社「アステロイド」

ミッドウェー社

アタリ社

アライド・レジャー社

AMOA・EXPO'79　AMOA・EXPO'79　AMOA・EXPO'79

《ギャンブル機ほか》

スロットマシン、ビンゴから ノーペイアウトTVゲームへ

バリー王国への挑戦

ギャンブルマシンはAMOA出品が許可になって今回で二回目となり、米国スロット、ビンゴからスペインビンゴ、英国フルーツマシン、マネープッシャーなど多数出品されたことになるが、この分野でもTV化されたものに関心が集中し、とくにペイアウトなしのTVポーカーなどが良かったようである。この点でサーコマ社はペイアウトありのTVスロットやペイアウトなしの「キノ」などをうまく展開していた。

シーバーグ社関係では今回その親会社からの発表でスロットマシン部門がゲーミング・ディバイス社(本社シカゴ)として分離独立したことが判明したが、今回AMOAでは同社スロットの豊富な機種をデモンストレーションし、巨大な力をふるうバリー社スロットに対抗した。一方バリー社は冷静に同社スロットの優秀さを披露するかたわら、集中管理システムSDSを発表。また参考出品としてOKタイプのビンゴ「マリブビーチ」を発表して話題となった。

ゲーミング・ディバイス社

バリー社のSDSシステム

新規加入のコンコルド社

ご存知「ザ・ドライバー」

エレメカ機も日本製 注目されたビデオJK

そのほかのアーケード機ではナムコ「ゼロイン」のほか、ミッドウェー社「サブマリン」(ナムコ)やフィルムが新しくなった「ザ・ドライバー」(関西精機)が好評で、エレメカマシン分野でも日本勢が高く評価されている。

なお日本の「腕ずもう」(東洋娯楽機)が相撲からプロレスになって「レスラー」として展示されていたが、このほうの人気度は不明だ(池本車体製で米国では代理店を通じて出品)。

米国製ではデスティニー・ドリーム社のエアー機構のミニドライブゲーム機「ザロン」や顔と顔を合わせて二重画像を作り出すメタ・インターナショナルの「メタ・フェイザー」などもあるが、いずれもゲーム機になりきっていない。

この展示会で人気を博したもので「ショー・タイム」というのがある。これはショータイム社(本社オハイオ州)出展によるものであるが、日本のゼネラル電機製とのこと。TV画像と音響を生かして、レコード盤の代わりにTVカセットを利用した"ビデオ・ジュークボックス"なのである。音楽を聞いたり、利用するだけでなく、人気歌手の姿もちゃんと利用できる点で、TV映像を巧みに生かしたアイデアだと、もっぱらの評判。

伝統的なジュークボックスでは、かけ声だけで勢いがよくないが、それでもロックオーラ社が「テクニカ」、シーバーグ社が「フェニックス」となかなか立派な製品を出品。80年代を生き延びる伝統産業という印象を強めていたようだった。

アメリカ向けの「レスラー」

本紙主催米国AMOA・IAAPA視察ツアー報告★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今後の業務に貢献

本紙主催第四回米国ツアー「AMOA・IAAPA視察旅行」の全行程は次のとおり。

シカゴ、ニューオーリンズ

十一月九日＝新東京空港にて結団式（団長＝小野定良氏）の後、日航機にて一路米国へ。ロサンゼルスにて入国、AA機にて同日夜シカゴへ到着。コンラッド・ヒルトンホテルに宿泊、翌十日から二日間にわたってAMOAエキスポ（その内容は本紙報道のとおり）に登録、視察した。そのようすはAMOA機関紙「ロケーション」にも"日本からの視察団"として掲載された。

十一日にはシカゴ市内をバスにて一巡。

十二日＝バリー・ピンボール工場を見学。シカゴからAA機にてワシントンDCへ。国会議事堂、ホワイトハウスなど米国政治の中枢部を見学（インターナショナル・インに宿泊～十三日まで）。

十四日＝NA機にてワシントンからオーランドへ。レイク・ブエナビスタのロイヤルプラザホテルに到着後、マジックキングダムを一巡。十五日は各自テーマごとに広大なディズニーワールドを探索、本格的に研究視察した。

十六日＝オーランドからNA機にてニューオーリンズへ。チャールズ通り、フレンチクォーターなど視察後、ホリデーイン（フレンチクォーター）に宿泊。翌十七日にはホテルの近くリバーゲイト会場の第61回IAAPAショーに登録、視察した。

これらAMOA、IAAPAショーはともに、躍進を続けるAMマシンの最新情報の集結地として充実した視察内容となった。

上の写真はバリー・ピンボール新工場にてツアーの一行

上の写真はワシントンはホワイトハウスをバックに記念写真

安全、便利、快適さを追求

十八日＝DL機にてニューオーリンズからラスベガスへ、ヒルトンホテルに宿泊。コンピューター管理の進んだ同ホテルカジノを視察するとともに、夜はデューンのカジノ・ド・パリ見学。

十九日＝ラスベガスからWA機でロサンゼルスへ。まず話題の遊園地「ナッツ・ベリーファーム」を視察後、デルアモSCで米国SCのありかたを見学（ロサンゼルス・ヒルトンホテルに宿泊）。

二十日＝ロサンゼルスからWA機でサンフランシスコへ。フィシャーマンズワーフで昼食後、金門橋、ツーピークスを巡ったのち、シェラトン・パレスホテルに宿泊。今回のツアーのしめくくりの夜食会を開催した。

二十一日＝日航機にてサンフランシスコを離れ、二十二日夜新東京空港に到着。大成果とともに全員無事帰国した。

なお今回ツアーの特色は、内容の豊富さに加え安全・便利を一段と強めた点が指摘されるところであり、当初の費用内でほとんどの朝・夕食が用意されたため、ゆっくりと安心して業務視察を深めたことも評価されているところである。

写真上はナッツベリーファーム、下は金門橋を背景に

●参加者お名前（順不同）

小野定良氏、矢野徳蔵氏（㈱ホープ）、内田博氏、内田瑞恵氏（㈱友栄）、段為粱氏、段王紅子氏（㈱アポロ）、加藤登氏、加藤治代氏（丸星産業）、猪瀬秀成氏、佐藤晴信氏（㈱大八、ハマプロパン㈱）、伊藤文俊氏、伊藤純子氏（東京ゲームセンター）、山本昇氏（全日本遊園協会）、宇島準一氏（㈱トニー）、八尾嘉宥氏（オーケー興産㈱）、若田部元幸氏（サクラ娯楽㈱）、宮治憲章氏（㈱富士娯楽）、岡本明三郎氏（㈱岡本製作所）、北山信一氏（北山産業㈱）、手塚明雄氏（㈱ナムコ）、上原義和氏（タスコ㈱）、小島豊氏（㈲ミリオン商事）、里見政幸氏（さとみ商会）、池田有宏氏（ジョイパックレジャー㈱）、表孝雄氏（ジョイパックアミューズメント㈱）、高良定尚氏、金城邦雄氏（宝グループ）、池田順也氏（アイエム貿易㈱）、田中亀雄氏（㈱ダイワ貿易）、小村茂氏（㈱ユニエンタープライズ）。

赤木真澄、赤木和美（AM通信社）、堀井明（近畿日本ツーリスト㈱）。

国際化したアミューズメントニュース
INTERNATIONAL AMUSEMENT NEWS

海外の話題

アンチックゲーム機展

画期的成果おさめた「ファンフェア」（ラスベガス）

上は「ルーズチェンジ」79年11月号の表紙から

米国ではアンチックスロットなど古いゲーム機、ジュークボックスのコレクションのブームが静かに進行しており、コレクター向けの専門月刊誌「ルーズ・チェンジ」が七七年十二月以来発行されるなど、すっかり〝分野〟として定着しているが、このほど「ルーズ・チェンジ」主催で大々的な展示会が開催され話題を呼んでいる。

これは「ファンフェア」という催しで、十月五日から六日間、ラスベガスの大西部展示場にて開かれた。催しにはスロットマシンの歴史を語り伝える講演会など各種セミナーが開かれる一方、展示場ではアンチック・ジュークボックス社など百五十七社が出展、アンチックスロット、古いアーケードゲーム機、ジュークボックス、プレイヤーピアノ、古いゲーム用メダル（トーケン）などアンチックマニアなら飛びつきそうな品物ばかり多数出品した。

アンチック・ゲーム機のオークションは今までに年に数回、西海岸を中心に散発的に開かれてはきたが、これほど大がかりに、しかもこれほど組織的に各業者が出展するというのは史上始って以来のこと。入場者数も主催者発表で一万人とのことであり、すでに立派な一市場として認められるに至ったことを示している。

初めての試みでありどうなるものが注目されていたが、あまりの盛況ぶりに、「ルーズチェンジ」発行所ミード・カンパニーのミード社長は「来年はもっと盛大に開く」と意気込みを強めている。

インベーダー人気

米国業界誌「リプレイ」の調査結果

AMOAエキスポ開催を機に「リプレイ」、「キャシュボックス」など業界誌ではAMマシンの動向調査結果を恒例により発表した（「プレイメーター」は少し遅れる見込み）が、それによるとジュークボックス部門は昨年よりさらに落ちこみ、フリッパー部門が拡大したが、TVゲーム部門は横ばいとのこと。

なお機種別のベストマシンは（「リプレイ」によると）、フリッパーでは①フラッシュ（ウィリアムズ社）、②プレイボーイ（バリー社）、③キッス（同）、④スーパーマン（アタリ社）、⑤パラゴン（バリー社）。TVゲーム機では①スペースインベーダー（ミッドウェー社）②フットボール（アタリ社）、③スプリントII（同）、④ヘッドオン（グレムリン社）、⑤スターホーク（シネマトロニクス社）。

とくに「スペースインベーダー」は、年間を通じてトップの座を守り続けているが、なお普及台数は少なく、二年目に入ってさらに人気が上ってくるものと、驚きをもって見られている。

米国の人気マンガ（つまりはアメコミだ!!）「ハルク」の雑誌からその表紙(上)である。一種のスーパーマンであるこのキャラクターからゴットリーブ社「ハルク」は生れた。

低迷　中小TVゲーム機メーカー

ミードウズ社倒産

「ジプシー・ジャグラー」などで知られているTVゲーム機メーカー、ミードウズ社（本社カリフォルニア州サニーベール）とその親会社であるホロソニックス社が、このほど倒産した。会社自体は残り、クレイバン社長たちは再建計画に望みをかけているが、観測筋では希望をかけていないとのようすである。

一方、やはりTVゲーム機メーカーだったラムテック社（本社カリフォルニア州サニーベール）でも、TVゲーム不振が続き、このほど従来のエレメカマシンに専念することでTVゲーム部門を閉じてしまった。ラムテック社はこれで危機を脱するものと見られている。

米国ではミッドウェー社、アタリ社、エキシディ社など大手メーカー以外のTVゲームメーカーは、フリッパー攻勢とTVゲーム機の高値によって低迷しているらしい。

話題のマシン

ヘッドオンⅢ「カーハント」
注目のランダー
セガ社から「モナコGPミニ」も

㈱セガ・エンタープライゼス（本社＝東京都大田区羽田一の二の十二、☎七四二－三一七一、ローゼン社長）から、TVゲーム機「モナコ・グランプリ・ミニ」、「ルナランダー」、「カーハント」が発売となっている。

「カーハント」は同社「ヘッド・オン」の延長線上にあるゲームで次のとおり新フィーチャーが加えられた。

①プレイヤーの車は、前後進、右折、左折と四方向に進める。②コースには立体交差があり、ゲートがいたるところに開いている。③一パターン消すたびに、コースの色が緑からオレンジ、白と変化する。④相手の車以外に〝インケンヤ〟と呼ばれる敵の車が特定のゲートを通ると現れ、追いかけてくるが、立体交差の下をくぐれば消える。

二十インチカラーモニター使用、得点表示五桁。

定価七十万円。

「ルナランダー」は米国アタリ社製のTVゲーム機で、ゲーム内容は、宇宙船のスピード、姿勢をコントロールして、月面に軟着陸させるもの。

宇宙船の方向はボタンによって、右方向、左方向へと傾けることができ噴射はボタンとレバーと両方あり、強く噴射させるにはボタンを使う。

ゲーム開始時の画面は月面のやや上空から月面をとらえている。着地点が四ヶ所示されており、その個所によって得点の差がある。着地点に宇宙船が近づくと、着地点の部分が画面一杯に拡大される。

時間制と燃料制になっており、一定時間を超えるとゲーム終了。噴射させると燃料が減り、燃料がなくなるとゲーム終了。

着地点へ着陸させる時は、静かに着陸させないと、着陸時の衝撃で爆発し、ゲーム終了となる。

画像は美しい細い曲線で描かれており、水平速度、垂直速度、傾斜角度が表示されており、難易度も選べるなど臨場感あふれたゲームとなっている。

定価九十八万円。

「モナコ・グランプリ・ミニ」は同社「モナコ・グランプリ」（本紙第130号にて詳報）の小型アップライト版。ゲーム内容はそのままで、狭いところにも設置できるので好評となっている。

定価七十二万円。

カーハント

ルナ・ランダー

モナコ・グランプリ・ミニ

画期的「サファリ」
新日本企画から「与作」も

㈱新日本企画（本社＝東大阪市下小阪百二十九の一、☎七八七－二〇五一、川崎英吉社長）から テーブルTVゲーム機「与作」、「サファリラリー」が発売となっている。

「与作」は、レバーと押しボタンによって〝与作〟を操作しながら木を切るゲーム。

木は三本あり、オノを木に当てると十点、木を倒すと百点。三本とも切り倒すと次のパターンとなる。

画面下部からは〝ヘビ〟中央からは〝イノシシ〟上部からは〝鳥〟が与作に攻撃してくるが、イノシシはオノで退治できる。退治すると五十点から三百点。音響効果、美しいカラー画像などすぐれた内容となっている。

定価六十万円。

「サファリラリー」は画面両端にジャングルが描かれ、中央には横一列に十本の木が植えられており、一定の間隔をへだてて縦四列ある。この木と木の間が車の走るコースとなっており、相手の車との衝突を避けながらコース上のドットを消していくもので、コース内にはヘビやライオンが現われ、自分の車に当たるとミステリーポイント（当たる場所によって異なる）が加算、ロの部分に当たると車は消滅する。パターンがすすむとさらに難しくなり奥行きのあるゲームとなっている。

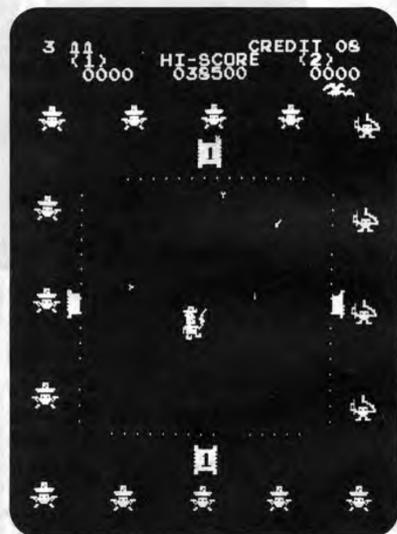
定価六十万円。

与作

サファリラリー

SHERIFF® シェリフ

話題独占。人気急上昇。

攻撃しながら迫ってくるならず者を撃ち倒し、レディを救い出すオリジナルゲーム、ここにデビュー！

PAT.P

スリルある大宇宙ゲームの決定版！

SPACE LAUNCHER

スペースランチャー

BOMB BEE-N
HEAD-ON-N MARK II

歯が崩れ、顔面が変わり、帽子が消えるコミカルな楽しいゲーム！

モンキーマジック

Monkey Magic

★スペースフィーバーをハイスプリッターまたはスペースランチャーに改造いたします。改造費￥10,000（取付工賃別）

任天堂レジャーシステム

本　社　〒101　東京都千代田区神田須田町1-22　TEL 03(254)1647
関西支社　〒542　大阪市南区長堀橋筋1丁目32　TEL 06(245)4155
京都営業所　〒605　京都市東山区福稲上高松町60　TEL 075(541)6111
名古屋営業所　〒451　名古屋市西区薮下町29番地　TEL 052(561)1685
岡山営業所　〒700　岡山市奉還町4丁目4番11号　TEL 0862(52)1821

野生の王国へご案内!!

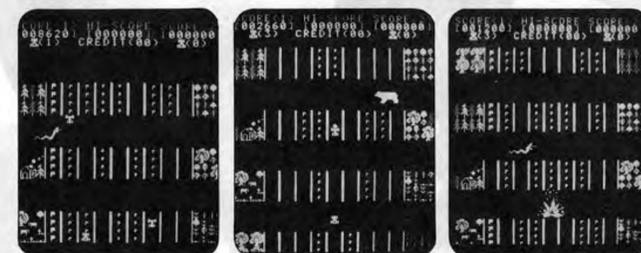
サファリラリー

草原をドライブするダイゴ味 ――
動物など障害物が現われ、岩に当たるとスピン

遊び方

- コース上に赤色と白色の車が現われます。赤色はプレイヤーの車、白色はコンピューターにより操作されます。
- プレイヤーは自分の車を白色の車に正面衝突させないようにレバーでコースを変更しながら走らせコース上のDOT（点）を消して行きます。
- ハイスピードボタンを押すと自分の車のスピードが速くなりますのでコントロールして走らせます。
- DOTを1個消すごとに10、20、30点のいずれかの点数になります。
- DOTを全部消すとパターンが新たに現われボーナス得点が加算されます。
- さらに3パターンからはコンピューター車は2台、5パターンからはコンピューター車は3台に増えます。
- コース上にヘビおよびライオンが現われ自分の車に当たるとミステリーポイントとして加算されます（100～600点）、但し口の直前に当たると車は消滅します。
- 5000点になると赤色の車が一台追加されます。

製造許諾先
- ㈱タイトー
- 富創商事㈱

★基盤のみの販売もいたしております（価格￥180,000）。

※商標および実用新案申請中　アップライトもあります。

オズマウォーズ

★三次元の世界の興奮とスリル!!
★画期的なエネルギー補給システム

基盤のみの販売もいたします。

テレビ、週刊誌で話題の

与作

遊び方
- オノが樹に当たるごとに10点、樹を倒すごとに100点、イノシシを消すと50～300点。
- 与作と小枝、ヘビ、イノシシなどが当るかオノにヘビ、イノシシが当たると昇天する。
- 与作は3回登場する（3000点以上で1回追加）。
- 鳥のフンが与作に当たると与作はしびれる。

※日本音楽著作権協会承認済　T-490237　アップライトもあります。

▽95-1774

レジャーシステム　Shin Nihon Kikaku

株式会社 新日本企画

本　社／東大阪市下小阪129番地1号　楠本ビル4F　☎(06)787-2051㈹
東京支店／東京都渋谷区千駄谷3丁目13番22号宮庭マンション205　☎(03)478-2146㈹
仙台営業所／仙台市上杉6丁目1番12号　鈴木ビル　☎(0222)75-6071
福岡営業所／福岡市博多区博多駅東3丁目3-16　川清ビル　☎(092)471-8612

どのメーカーの商品も豊富に！

シェリフ

ウェスタンの雰囲気を盛りあげる音響効果と、ユニークなキャラクターの新ゲーム（任天堂製）
▽95－1740

ギャラクシアン

次々来襲するエイリアン編隊を撃破せよ！　鮮明カラー画像の迫力。製造許諾品（アイレム製）
▽95－1655

ギャラクシアン

エイリアンの大編隊を撃破する鮮やかなカラー画面の新ゲームです。（日本物産製）
▽95－1836

ベースボール・ゲーム

野球の予想当てという新しい発想の1人用メダルゲーム機です。ホッパー採用。（大平技研製）

ロータリー・デュエット

6わく制連勝複式と7わく制単勝式のふたつが同時進行する電光点滅式の決定版（関西企業製）
▽91－11757

リトルボーイ・トリプル

超小型のカウンター式3倍賭けのダイゴ味　▽91－15708

パートナー

的中するとさらにもう一度楽しめるネクストゲーム付
▽91－15292

ジョッキー・クラブ

2倍賭けのテーブル型で2人で4枚賭け　▽91－15708

※上記メダルゲーム機の設置運営につきましては「メダルゲーム場運営基準」を守って下さい。

株式会社 ベンドジャパン
本社　〒556 大阪市浪速区水崎町18番地
TEL　06（643）3857（大代表）

東京支店
〒104 東京都中央区新川1－18－7 新川ビル
TEL 03（553）8293(代)

沖縄支店　沖縄ベンドジャパン
〒901-22　沖縄県宜野湾市大山436
TEL 09889(7) 3333

松山支店　ベンド松山
〒790 松山市萱野町6丁目19　三好ビル
TEL 0899(25) 1300

ブロック ジービー インベーダー から オリジナルゲームへの転換・SOSゲーム

コーヒータイムごとに
カワイコチャンが現われる
さてどんなスタイル？

SOSゲームの遊び方
①グングン攻撃してくる敵機を打ち落とします（1機10点）。
②左右ランダムに出るSOSに本機の翼を当てるとボーナス（30点）アップ。同時に侵略機（10機分）減算されます。
③得点が上がるに従い敵機が増して難しくなります。
敵機に100機侵略されるか、本機が3機爆発でゲーム終了。

新ゲーム発売中

二、四、八方向レバー、外付けボックス、丸キー等機構部品一式発売中

※3枚基盤と差し替え可能

中日本リース株式会社
営業部　〒463 名古屋市守山区大森六反田3287　電話（052)798－1053
技術部　〒451 名古屋市西区又穂町3－63　電話（052)522－2646

子供ゲーム機の最新鋭機！

マッチプレー36

★2ウェイ方式を採用
メダル・コインどちらも使用可能
★好評「ピンポンパン」に続く
新型機！

遊び方
①一番下のハンドルで強くうちあげて下さい。
②上のレバーから上手にうっていきます。玉が入るとその数のランプがつきます。次にその下のレバーで同じ数のランプをつけて下さい。
③最高6×6＝36枚のメダルが出ます。
1×1＝1　2×2＝4　3×3＝9
4×4＝16　5×5＝25　6×6＝36
④ゆすったり、たたくとゲームアウトになりまする。

Kアンド L商会
大阪府東大阪市高井田本通5-2
☎06（783）6362(代)

信頼のブランド　レジャック株式会社　DEVELOPER OF AMUSEMENT　販売代理店

FROM LEIJAC WITH PRIDE

★3次元へのスタートです！
★圧倒的迫力、鮮烈なカラー画面、素晴しいサウンドでプレイヤーを魅了します。
★中央の照準に敵をロックしレザー発射！
SCOREが300点を越るとFUELが150追加されます。

▽95－1832

わたしたちは、明日の夢をクリエートします。

TCS 東洋コンピューターサービス株式会社
〒530 大阪市北区西天満5丁目8番15号（八千代ビル別館8階）
電話：大阪(06)364－5557(代)

ソフトウエアの開発をいたします

●TVゲームに関するあらゆるご相談をお待ちしております。

ギャラクシアン　　与作とゴン平

テレビゲームのパイオニア　タートル INC.
〒661 尼崎市時友シモンテン230-2
電話（06）432 2706代

盗難防止警報装置

※あらゆるゲーム機に取付可能

ルパンアラーム

高さ…150mm
横幅…100mm
実行…30mm

定価 ¥28,000

業界の動き活発に

国内の動き

1978年 12月
（日付：★ ★ 3 4 5）
- タイトー「スペース・インベーダー」で製造許諾開始
- ナムコ「ジービー」などで海外分から製造許諾開始
- アイピーエム、大阪でテーブルTVゲーム大会開く
- JOU十二月例会（石川、山代温泉）＝「優良マシン」決定
- JAA第33回理事会（石川、山代温泉）＝三部会制など役員改選方法決定

1979年 1月
（日付：★ 11 16 19 22 25 27）
- 警察庁、メダルゲーム場を含めた風俗環境実態調査の結果を発表
- インベーダー模倣機の問題で「協議会」開かれる（東京銀座）
- アイピーエム新作展（大阪、18日東京）
- JAA遊園施設部会総会（大阪）
- JAA第34回理事会（大阪）
- 本紙主催ATE視察団出発（29日帰国）
- レコード「ディスコ・スペースインベーダー」全国発売に
- アイピーエム・ハワイへ百八十名の研修旅行（２月１日帰国）

2月
（日付：1 14 16 19 23 ★）
- 中山隼雄氏がセガ社副社長に就任。エスコ貿易社長には森健次郎氏。
- シグマ、新アーケードチェーン「マジックランド」展開始める。
- 和歌山県の青少年健全育成条例実施
- JOU定例総会（京都）＝第２回優良マシンとして六社へ表彰状
- パチンコの全遊協理事会でTVゲーム機の規制案出される
- NHK総合テレビ「スタジオ１０２」でスペースインベーダー紹介される
- JAA第６回総会（熱海）＝役員改選で紛糾したが、新会長に山田俊夫氏が選ばれ、遠藤前会長は名誉会長に
- 大阪で風営スロット「ジェミニ」「スーパーライン」許可条件違反摘発

3月
（日付：2 8 13 15 17 20 ★）
- 衆議院予算委員会でTVゲーム機の論議
- 池袋サンシャインシティに「サーカスサーカス」オープン
- 三井グリーンランドで初の国産宙返り「ルーピングコースター」（明昌特殊産業）運転開始
- ナムコ、志木ファイブに「ナムコランド２」オープン
- JAA第35回理事会（東京）＝山本氏の専務復帰決まる
- 九州AM協会総会（福岡）＝新理事長に津末武久氏
- ジャトレ、第２回カラオケ歌謡大賞全国大会（東京・日劇）
- 「瀬戸内２００１博」開催（岡山）＝宙返り「スパイラル」、立体映像シネマ１８０」（明昌特殊産業）公開
- 横浜ドリームランドで「シャトルループ」運転開始（三精輸送機）
- タイトー、「インベーダー」で三グループの類似品製販差し止め請求へ

4月
（日付：1 13 15 17 18 29 30）
- 超高度星占い「アストロクラフト」オープン（東京銀座）
- セガ＝エスコ貿易共催でTVゲーム機展（東京・科学技術館、～14日）
- 公営「とちのきファミリーランド」オープン
- JOU四月例会（徳島）
- 日本電子機械工業会、JAAを招いてTVゲーム機製造についての懇談会
- 御殿場ファミリーランドに東洋娯楽機初の宙返り「ループコースター」運転開始
- 「東京ディズニーランド」計画でオリエンタルランド社が米国で最終契約かわす。
- 全国シングルロケ協議会（ASL）、新組織模索中のまま解散終了

5月
（日付：1 7 8 15 17 20 22 24 27 30）
- 「群馬サファリワールド」オープン＝遊園地分野にユニバーサル本格的進出
- パチンコの日工組総会＝インベーダーブームに言及
- JAA・OP部会総会（東京）＝インベーダーブームを考察
- ジャトレ、ミスターBOO杯インベーダーゲーム大会開く（東京）
- JAA・AM部会総会（東京）＝電取問題と模倣問題を検討
- ユニバーサル、コスモンで第２回テーブルTVゲーム大会（東京）
- JAA第36回理事会（大阪）、引続きAM・OP合同役員会も
- 警察庁、TVゲーム機で全国調査指示
- 東大五月祭でインベーダー大会開かれる
- JAA・AMとOP会同役員会（東京）＝急ぎ「インベーダーゲーム自粛」を決定

海外

1978年 12月
- 1　米国、CAロビンソン社による第５回「西海岸ゲーム機ショー」開く
- 13　米国、新１ドル硬貨製造開始

1979年 1月
- ★　米国、アタリ社ブッシュネル会長辞任、「ピザ・タイム・シアター」に専念
- ★　ヨーロッパ、アメリカ北部に大寒波襲来
- 23　英国、ロンドンで第35回ATE開催（～25日）

2月
- ★　ハリー・ウィリアムズ氏、米国スターン社へ現役復帰
- ★　米国でアーケードゲーム場チェーンの協会化活発に

4月
- 14　イタリア、ミラノでAM「ミラノフェア」開催（～23日）
- 15　米国、アタリ社第５回ディストリビューター会合をハワイ島で開く（～21日）

5月
- 4　米国、ニューヨークで初のICMショー開催（～６日）
- 5　米国、AMOA役員会開く（フロリダ、～７日）
- ★　米国、シネマトロニクス社がベクトービーム社を買収

激動の1979年

国内の動き

6月
（日付：★ 1 2 3 7 8 18 24 30）
- "インベーダーブーム"ピークになり、全国各地で教育行政関係者が先頭に立ってインベーダーゲーム禁止へ
- ナムコ、25周年を機に株式上場計画を発表
- JAA「インベーダーゲーム自粛宣言」を発表
- 昇降機安全センター主催「欧米遊戯施設調査団」出発（20日帰国）
- 警察庁、インベーダーゲームで全国通達
- JAAショー委員会始動
- 参議院文教委員会がゲーム場を調査、「インベーダーゲームは悪くない」と結論
- JOU六月例会（東京）＝良識あるオペレーションをめざして「管理者心得」など発表。青少年会議、警視庁も支持
- アポロ、リノチェーンで"女性だけのインベーダー大会"開く
- タイトー、歌舞伎町に大型店「ルナパーク」オープン

7月
（日付：1 13 17 20 26 27 30）
- 後楽園遊園地で往復宙返り「ブーメラン」（ミゼッティ工業）、「スカイタワー」（川鉄商事）運転開始
- アイピーエム、アイレムへと社名変更を披露
- 大阪自動娯楽機組合、峯組合長により再活動へ
- 本紙主催、関西初の「第１回AMソフトボール大会」開く（～18日）
- 豊島園、「トロイカ」、「フライングボブ」（ミゼッティ工業）など続々と新型機導入
- JAA第37回理事会（東京）
- セガ社「ヘッドオン」で製造許諾を発表
- タイトー、「インベーダー・パートII」で初の記者発表

8月
（日付：1 4 11 16 20 23 24）
- JOU八月例会（松本から高山へ家族旅行を兼ねて、～３日）
- 東条湖ランドで初の国産往復宙返り「ザ・ループコースター」（明昌特殊産業）運転開始
- アイレム「大阪夏まつり」を開催
- 警察庁、七月までの全国TVゲーム機の実態調査結果を発表＝インベーダーゲーム機は23万台
- ジャトレ、米国サンフランシスコにカラオケパブ開店
- エキスポランドで複合宙返り「スペースザラマンダー」（ミゼッティ工業）運転開始
- JAA、電気用品取締法説明会開く（東京）

9月
（日付：1 3 15 21 26 ★）
- 四年ぶりにパチンコショー「全国新型遊技機展示会」開催（名古屋）
- 東京国際玩具見本市開催（東京、～５日）
- セガ社大阪で「ヘッドオン大会」開催
- JAA第38回理事会（大阪）＝JAA電取登録制の疑問点やっと解決へ
- JOU理事会（浜松）＝マル三商会への全面支援決定。セガ社と懇談会
- ユニバーサル「ギャラクシー・ウォーズ」で製造許諾開始

10月
（日付：1 6 11 12 17 19 20 26 28）
- セガ社「モナコGP」など新作を記者発表
- 黒崎そごうに、西日本ドリーム産業「スカイパーク」オープン（北九州）
- 中部オペレーター会合開く（岐阜）
- 関東、西日本の遊園地協会が協力して「日本遊園地協会」設立総会（京都）
- JAA・OP緊急総会（熱海）＝新理事に水野氏
- 第18回自販機フェア開催（東京・流通センター、～20日）
- 第17回アミューズメントマシンショー開催（東京・晴海、～20日）＝空前の規模と活況、大型台風まで来襲
- セガ社、ナムコそれぞれ都内ホテルでレセプション開く
- ナムコ「ギャラクシアン」で製造許諾を発表
- JOU十月例会、九州AM協会例会、JAA懇親会（いずれも東京・晴海）
- JAAショー委員会最終会合（鬼怒川温泉）
- チェスト、データイースト共催で新作展（大阪）

11月
（日付：3 6 9）
- 79全国ロボット大会開催（東京・科学技術館～11日）
- 昇降機資格者講習会（東京と大阪、～９日）
- 本紙主催「米国AMOA・IAAPA視察団」出発（22日帰国）

海外

6月
- ★　米国、西海岸を中心に石油不足深刻化
- ★　米国バリー社、ピンボール部門を分離独立と発表
- ★　英国、付加価値税（VAT）強化へ

9月
- 10　米国、タイトー・アメリカ新工場へ移転
- 15　米国、シーバーグ社シカゴでディストリビューター会合開く

10月
- 5　米国でアンチックゲーム機展「ファンフェア」開催（ラスベガス～10日）
- ★　米国、アタリ社キーナン会長も辞任、「ピザ」社長に
- ★　米国、バリー・ピンボール新工場操業開始
- 25　米国、シカゴで自販のNAMAショー開催（～28日）

11月
- 9　米国、シカゴでAMOAエキスポ79開催（～10日）
- 16　米国、ニューオリンズで、第61回IAAPAショー開催（～19日）

もう考えて見る時期だとは思いませんか?

インベーダーに明けくれ、業界中が狂っていたと思ったら、次はヘッドオン、ギャラクシイ、やれ幻の与作、ゴキブリetc…
次々と追われるようにテレビゲームを買っていたのでは、ロケ収入と支払とのバランスはどうなることでしょう。
改造や基板の修理、モニターの調整等々、頭の痛くなることも多いはずです。
もうそろそろ、流行りすたりのない、完全に償却して収益のあがる健全なゲームを、オペレートの中に組み入れませんか。
これら全ての問題に答えられるのが、アメリカで創造された新しいゲーム、バンパープールテーブルです。

Trésor Boîte
トレゾールボァト

CREDIT TYPE

Million Dice
Double-Up

100円硬貨両替・メダル貸機
BTC-200

千円札両替機
ADC-3000

PAYOUT TYPE

BUMPA POOL TABLE
バンパー プール テーブル

※買います
新品中古を問わずインベーダーゲーム(立型・テーブル型)

紙幣両替機によるロケーションでの増収益は既に実績となっています。
ARDAC、モデルADC-3000はすべてのロケーションにとって今や必需品です。

定価¥390,000

アーダック極東総代理店
BONANZA ENTERPRISES, LTD.
ボナンザ エンタープライゼス リミテッド
横浜市磯子区磯子町6-6 TEL.045-753-3951～6

細字は1978年、太字は1979年に掲載したところです。

ゲーム機のことなら信用と実績の TOHO

お求めやすい価格でご奉仕!!

●ズーム8
〒91－11722

●ジョッキー・クラブ
〒91－15708

●パートナー
〒91－15292

●チャレンジ (ネキスト・ゲーム付)
〒91－15292

総合販売・賃貸 TOHO SHOJI ゲーム場の運営

東宝商事株式会社
〒530 大阪市北区天満橋1-3-12 ☎(06)357-1000(代表)

※上記メダルゲーム機の設置運営につきましては「メダルゲーム場運営基準」を守って下さい。

総目録 No.12

本紙第123号～第129号の「話題のマシン」でとりあげたマシン総目録です。
配列については、❶フリッパー、❷TVゲーム機、❸その他アーケードゲーム機、❹メダルゲーム機、❺乗物機、❻ジュークボックス（カラオケジュークを含む）などに分類し、それぞれ掲載順となっております。社名（略称）のうしろ番号は掲載号の号数です。

ステラウォーズ
米国ウィリアムズ社製4Pの電子回路式のフリッパー。同社「フラッシュ」の延長上にあり、音と光を大胆にとり入れている。定価78万円。【セガ社】No.127

カウント・ダウン
米国ゴットリーブ社製4Pの電子回路式フリッパー。ドロップターゲットが20個もあるなど、高度な内容となっている。定価67万円。【タイトー】No.124

スタートレック
米国バリー社製4Pの電子回路式フリッパー。パラマウント映画との提携版で「宇宙大作戦」の登場人物がバックガラスに。定価62万円。【タイトー】No.124

フィールド・ゴール
TVゲーム機で、ブロックとサーカスとのおもしろさを加味したもの。フットボールをテーマにゲーム内容も高度なもの。定価70万円。【タイトー】No.124

アップセット・ブロック
TVゲーム機で、ブロックゲームを基本にアレンジしたもの。20インチの白黒モニター。音響効果は6種類の電子音を採用。定価49万円。【セガ社】No.124

テーブル・スーパーブレイクアウト
米国アタリ社の同名機のテーブルTVゲーム機。ダブル、プログレッシブ、キャビティの3種類のブロックゲームが楽しめる。定価46万円。【ナムコ】No.123

テーブル・ボムビー
同社同名のTVゲーム機のテーブル型のもの。千点バンパーにボムビーシグナルが突きささった時ボールが当たると爆発する。定価64万円。【ナムコ】No.123

ボムビー
TVゲーム機で、同社「ジービー」に続く、ビーシリーズ第二弾。千点バンパー、ボムビーシグナルなどに一層内容が高度に。定価58万円。【ナムコ】No.123

キッス
米国バリー社製4Pの電子回路式のフリッパー。世界的なロックグループ「キッス」をメインデザインにしたもの。定価64万円。【タイトー】No.129

ランナウェイ
"ヘッドオン" タイプのテーブルTVゲーム機で、地球人がエイリアンとの衝突を避けながらドットを消していくもの。定価58万円。【岐阜特機】No.125

TTスペース・インベーダー・パートII
同社TVゲーム機「スペース・インベーダー」の延長線上にあるもので、遊び方は同じだが、新フィーチャーが加えられた。定価65万円。【タイトー】No.125

ギャラクシー・ウォーズ
テーブルTVゲーム機で、ミサイルをレバーとファイアーボタンで操作して、敵UFOに命中させ破壊していくもの。定価55万円。【ユニバーサル】No.125

SF ハイスプリッター
テーブルTVゲーム機で、同社「スペース・フィーバー」の延長上にあるもの。侵略者の形は大きくなり分裂もする。定価60万円。【任天堂】No.124

スターファイアー
米国エキシディ社製同名機の技術提携版。宇宙戦争をテーマにしたカラーモニター使用マイコンTVゲーム機。定価145万円。【タイトー】No.124

TTフィールド・ゴール
同社同名のTVゲーム機のテーブル型のもの。ボーナス得点、エキストラボール、リプレイなど内容も充実している。定価60万円。【タイトー】No.124

PT ヘッドオン
テーブルTVゲーム機で、画面のコースに四ケ所にIREMの文字が現われ、同色にするとボーナス得点が倍増される。定価62万円。【アイレム】No.128

バスケットボール
米国アタリ社製TVゲーム機。二人用で、ボールスイッチを操作して選手を動かし、バスケットボールゲームが楽しめる。定価98万円。【セガ社】No.127

スターホーク
米国シネマトロニクス社との業務提携版TVゲーム機。3D方式を採用。敵宇宙船を撃破するとコナゴナに砕け飛び散る。定価70万円。【セガ社】No.127

与作
テーブルTVゲーム機で、"与作" をレバーで操作し、プッシュボタンで木を切っていく。流行歌からきた発想のゲーム。定価59万円。【オーエム】No.126

モンキー・マジック
ブロックゲームにアレンジを加えたテーブルTVゲーム機で、画面に描かれた "モンキー" や音響効果はユーモラスで楽しい。定価50万円。【任天堂】No.126

フットボール
米国アタリ社製同名機を同社が国産化したTVゲーム機。二人用で、実戦さながらのフットボールゲームが楽しめる。定価75万円。【ナムコ】No.126

話題のマシン
(123号～第129号)

与作とゴン平
テーブルTVゲーム機で、"いたずらカラス" を鉄砲で打ちおとすもの。ジャトレからも別名で発売されている。定価51万5千円。【ウイング】No.128

スペース・インベーダー・パートII
同社同名機のアップライト版で、ゲーム内容は同じ。バックスクリーンは神秘的な効果をあげている。ハーフミラー使用。定価64万円。【タイトー】No.128

ギャラクシー・ウォーズ
同社同名機のアップライト版。ゲーム内容は同じだが、26インチモニター使用で迫力アップ。定価白黒55万円。カラー72万円。【ユニバーサル】No.128

TS ピラミッド
同社同名機のテーブル版。ゲーム内容も同じで、ピラミッド、人形などがボーナス得点のたびに出現する。定価60万円【三共】No.129

ピラミッド
TVゲーム機で、ツタンカーメン像を中心にキメ細い美しい画面のブロックゲームの一種。ボーナス得点も設定している。定価72万円。【三共】No.129

TTスペース・チェイサー
テーブルTVゲーム機で、追撃してくる敵ミサイルを避けながら、プレイヤーの宇宙船でコース内のドットを消していくもの。定価60万円。【タイトー】No.129

第3惑星
テーブルTVゲーム機で、地球の防衛軍とエイリアンとの宇宙戦争ゲーム。宇宙船は被爆しても基地に戻ると修復される。定価58万円。【岐阜特機】No.129

ヘッド・オン・パートII
同社同名機のテーブル版。従来のテーブル型はヘッドオンとの2イン1方式であったが、この機械はヘッドオンのみ。定価58万円。【セガ社】No.129

ヘッド・オン・パートII
同社TVゲーム機「ヘッド・オン」の延長線上にあるもので、四ケ所のUターンゾーンなどの変化を加えたもの。定価70万円。【セガ社】No.129

ファイアーカー
サイズ、点滅ランプ、音響効果など「アメリカンビッグ」と同一の定置式乗物機。同社同名機の小型版。定価36万円。【キクチ】No.124

アメリカンビッグ
従来の定置式乗物機よりかなりコンパクトサイズになり、店頭、スーパーなど狭いスペースにも設置できるようになった。定価36万円。【キクチ】No.124

ポルシェ
定置式乗物機で、動きや音響効果など「F－1」と同じ。一人乗りで、子どもが足を出さないよう定全対策も怠りない。定価43万円。【朝日エンジ】No.123

F－1
定置式乗物機で、前後左右の動きにあわせて、走行音（エンジン音）が鳴り響き、押しボタンでクラクションが鳴らせる。定価43万円。【朝日エンジ】No.123

スペースシグナル
パチンコ式で次々と入賞して上へ上っていくアーケードゲーム機。UFOの音響効果、モンスターが動くなど新工夫。定価脚付で15万円。【名豊商事】No.125

腕ずもう
十両、前頭、小結、関脇、大関横綱の6ランクの番付けある腕ずもうのアーケードゲーム機。ユニークな装飾は楽しい。定価76万円。【東洋娯楽】No.125

今年度総目録索引

キティカー「銀河鉄道 999」
節電型バッテリーカーで、機関車と炭水車が連絡され、後の車を引っぱるというユニークな動作が楽しめる。2人乗り。定価48万円。【日本娯楽】No.129

コントロールカー
1人用乗物機で、軌道の組合せが何通りも可能なうえ、規格化されたレールセットにより、組立て解体が簡単に、定価 180万円。【朝日エンジ】No.127

スペース・ジャンボ
旋回式乗物機で、上昇幅は50センチメートル、最上部では30度の傾斜がつく。座席部分はゆったりしている。定価98万円。【東洋娯楽】No.125

ヘリコプター
サイズ、点滅ランプ、音響効果など「アメリカンビッグ」と同一の定置式乗物機。同社同名機の小型版。定価36万円。【キクチ】No.124

アミューズメントマシン 電気用品型式認可番号表

（昭和53年4月1日～昭和54年3月31日認可分）

アミューズメント通信社編

電気乗物（有効5年）

▼91・16321（昭和五十三年四月十四日）＝㈱タナカ製作所（神奈川）、一〇〇V、四〇〇W、定置用、屋外用。

▼91・16489（五月二十四日）＝昭和鉄工㈱（東京）、一〇〇V、二〇五／一七八W、定置用、屋内用。

▼91・16949（七月二十一日）＝関東エナメル工業㈱（東京）、一〇〇V、三二／三二・五W、定置用、屋外用。

▼91・17439（九月二十六日）＝㈱ナムコ（東京）、一〇〇V、二一〇W、定置用、屋外用。

▼91・17445（九月二十七日）＝加藤繁一（大阪）、一〇〇V、五〇〇W、定置用、屋内用。

▼91・17517（九月十二日）＝㈱三共（東京）、一〇〇V、一一〇W、走行用、屋外用。

▼91・17688（十月二十一日）＝朝日エンジニアリング㈱（徳島）、一〇〇V、一九五／一六二W、定置用、屋内用

▼91・18731（昭和五十四年二月二十三日）＝キクチハンドメイズ工業㈱（大阪）、一〇〇V、二二五／二〇五W、定置用、屋外用。

電気遊戯盤（有効5年）

▼91・16325（昭和五十三年四月十四日）＝シャープ㈱（大阪）、一〇〇V、一三五W、屋内用、アルキメデスプラザ盤。

▼91・16371（四月二十八日）＝大洋技研㈱（兵庫）、一〇〇V、三六・一／二七・三W、屋内用、射的盤。

▼91・16403（五月八日）＝㈱セガ・エンタープライゼス（東京）、一〇〇V、一九〇W、屋内用、コリント盤。

▼91・16453（五月十五日）＝神戸電波㈱（兵庫）、一〇〇V、一四五W、屋内用、ルーレット盤。

▼91・16460（五月十五日）＝㈱タイトー（東京）、一〇〇V、一八〇W、屋内用、コリント盤。

▼91・16706（七月四日）＝㈱ナムコ（東京）、一〇〇V、一七〇W、屋内用、コリント盤。

▼91・16711（七月十一日）オートジャン㈱（和歌山）、一〇〇V、二七〇／二六五W、屋内用、麻雀卓台。

▼91・16973（七月二十六日）＝㈱タイトー（東京）、一〇〇V、一四〇W、屋内用、コリント盤。

▼91・16997（八月十一日）＝土井清二（東京）、一〇〇V、二六W、キャンディペット盤、屋内用。

▼91・17013（八月十一日）＝㈱三共（愛知）、一〇〇V、一〇W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・17014（八月十一日）＝㈱三共（愛知）、一〇〇V、二〇W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・17195（八月二十五日）＝日野㈱（広島）、一〇〇V、十四W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・17196（八月二十五日）＝日野㈱（広島）、一〇〇V、一四W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・17331（八月三十一日）＝㈱タイトー（東京）、一〇〇V、一九五W、コリント盤（アタリ）、屋内用。

▼91・17353（九月二十一日）＝日本パルスモーター㈱（東京）、一〇〇V、五五／七五W、麻雀卓盤、屋内用。

▼91・17363（九月二十一日）＝㈱ユニバーサル（栃木）、一〇〇V、一二五W、コリント盤、屋内用。

▼91・17418（九月二十二日）＝㈲こまや製作所（兵庫）、一〇〇V、一三W、タッチアクション盤、屋内用。

▼91・17449（九月二十七日）＝㈱セガ・エンタープライゼス（東京）、一〇〇V、一六〇W、コリント盤、（リクエイティボス・フランコ）、屋内用。

▼91・17567（十月五日）＝三共技研㈱（群馬）、一〇〇V、八W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・17572（十月五日）＝三共（東京）、一〇〇V、一四五W、かっぱ野郎盤、屋内用。

▼91・17616（十月十二日）＝㈱エスコ貿易（東京）、一〇〇V、七六／七四・五W、コリント盤、屋内用。

▼91・17623（十月十二日）＝㈱ロジテック（神奈川）、一〇〇V、三八W、ルーレット盤、屋内用。

▼91・17826（十月十六日）＝コナミ工業㈱（大阪）、一〇〇V、二十五W、メダル落し盤、屋内用。

▼91・17899（十一月七日）＝平和工業㈱（群馬）、一〇〇V、十三W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・17997（十一月十六日）＝㈱ジャンボ（愛知）、一〇〇V、一〇／九・五W、インターチェンジ盤、屋内用。

▼91・18159（十一月二十五日）＝青葉工業㈱（神奈川）、一〇〇V、二〇W、クレーン盤、屋内用。

▼91・18160（十二月四日）＝㈱タイトー（東京）、一〇〇V、一六〇W、コリント盤（ザッカリア）、屋内用。

▼91・18173（十二月二日）＝㈱三共（東京）、一〇〇V、一八W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・18216（十二月七日）＝オリエンタル遊園設備㈱（富山）、一〇〇V、六〇W、射的盤、屋内用。

▼91・18228（十二月二日）＝マルマ電子工業㈱（大阪）、一〇〇V、二三七／二三〇W、電動式麻雀卓盤、屋内用。

▼91・18299（十二月二十一日）＝㈱タイトー（東京）、一〇〇V、一一五W、サッカー盤（ブラジル）、屋内用。

▼91・18530（昭和五十四年二月二日）＝京楽産業㈱（愛知）、一〇〇V、一二W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・18531（二月二日）＝京楽産業㈱（愛知）、一〇〇V、一二W、パチンコ盤、屋内用。

▼91・18534（二月二日）＝㈱タイトー（東京）、一〇〇V、一二〇W、コリント盤（リセル）、屋内用。

▼91・18573（二月九日）＝㈱バリー・ジャパン（東京）、一〇〇V、二〇〇W、コリント盤（バリー）、屋内用。

▼91・18712（三月二十二日）＝㈱シグマ（東京）、一〇〇V、四九〇W、ニュー・ペニーフォールス盤（クロンプトン）、屋内用。

▼91・18730（三月二十三日）＝長田電機㈱（大阪）、一〇〇V、六二W、景品落し盤、屋内用。

▼91・18838（三月九日）＝三共（東京）、一〇〇V、一五〇W、コリント盤（ウィリアムズ）、屋内用。

光源応用 遊戯器具（有効5年）

▼94・2023（昭和五十三年九月二十七日）＝昭和遊園機械㈱（東京）、一〇〇V、三五W。

▼94・2048（九月二十九日）＝任天堂㈱（京都）、一〇〇V、一二五〇W、屋内用。

電子応用 遊戯器具（有効5年）

▼95・14811（昭和五十三年四月十七日）＝七尾電機㈱（石川）、一〇〇V、六五W、屋内用。

▼95・15445（八月八日）＝任天堂㈱（京都）、一〇〇V、五三W、屋内用。

▼95・15556（九月二十二日）＝シャープ㈱（大阪）、一〇〇V、一三W、屋内用。

▼95・15558（九月二十二日）＝パシフィック工業㈱（東京）、一〇〇V、八五W、屋内用。

▼95・15571（九月二十九日）＝パシフィック工業㈱（東京）、一〇〇V、一二〇W、屋内用。

▼95・15572（九月二十九日）＝辰巳電子工業㈱（大阪）、一〇〇V、六三W、屋内用。

▼95・15580（九月二十九日）＝㈱ロジテック（神奈川）、一〇〇V、七五W、屋内用。

▼95・15581（九月二十九日）＝七尾電機㈱（石川）、一〇〇V、九一W、屋内用。

▼95・15590（十月二十一日）＝富士電子工業㈱（千葉）、一〇〇V、一四〇W、屋内用。

▼95・1600（十月十三日）＝コナミ工業㈱（大阪）、一〇〇V、五五W、屋内用。

▼95・1601（十月十三日）＝パッケル測器㈱（東京）、一〇〇V、五八W、屋内用。

▼95・1602（十月十三日）＝データイースト㈱（東京）、一〇〇V、八五W、屋内用。

▼95・1603（十月十三日）＝㈱ロジテック（神奈川）、一〇〇V、九〇W、屋内用。

▼95・1606（十月二十五日）＝㈱東亜セイコー（京都）、一〇〇V、六二W、屋内用。

▼95・1621（十月三十一日）＝広洋機器㈱（愛知）、一〇〇V、五〇W、屋内用。

▼95・1632（十一月十六日）＝㈱ユニバーサル（栃木）、一〇〇V、八三W、屋内用。

▼95・1635（十一月二十四日）＝富士電子工業㈱（千葉）、一〇〇V、五五W、屋内用。

▼95・1648（十二月十六日）長田電機㈱（大阪）、一〇〇V、五八W、屋内用。

▼95・1655（十二月二十五日）＝七尾電機㈱（石川）、一〇〇V、九五W、屋内用。

▼95・1653（昭和五十四年一月六日）＝㈱ユニバーサル（栃木）、一〇〇V、一七六W、屋内用。

▼95・1654（一月六日）＝パシフィック工業㈱（東京）、一〇〇V、一〇五W、屋内用。

▼95・1659（一月十八日）＝大森電気㈱（東京）、一〇〇V、52 六二W、屋内用。

▼95・1660（一月十八日）＝㈱セガ・エンタープライゼス（東京）、一〇〇V、一二〇W、屋内用（グレムリン）。

▼95・1663（一月二十四日）＝長田電機㈱（大阪）、一〇〇V、五四W、屋内用。

▼95・1664（一月二十四日）＝打越ベンダーサービス㈱（大阪）、一〇〇V、六五W、屋内用。

▼95・1665（一月二十四日）＝電気音響㈱（東京）、一〇〇V、五七W、屋内用。

▼95・1670（二月二日）＝㈱ゼネラル（神奈川）、一〇〇V、一〇三W、屋内用。

▼95・1672（二月十日）＝㈱ウコー・コーポレーション（東京）、一〇〇V、七五W、屋内用。

▼95・1675（二月二十一日）＝㈱三共（東京）、一〇〇V、五〇W、屋内用。

▼95・1679（三月一日）＝㈱ジャトレ（東京）、一〇〇V、七〇W、屋内用。

▼95・1700（三月二十二日）＝大洋技研㈱（兵庫）、一〇〇V、五七W、屋内用。

▼95・1701（三月二十二日）＝パシフィック工業㈱（東京）、一〇〇V、八一W、屋内用。

▼95・1703（三月二十六日）＝㈱ユニバーサル（栃木）、一〇〇V、一六九W、屋内用。

解説

昭和五十三年度（53年4月から54年3月まで）で電気用品型式認可のあった「電気乗物」八件、「電気遊戯盤」三十八件、「光源応用遊戯器具」二件、「電子応用遊戯器具」三十三件のあらましを、それぞれ認可日付順に配列した。

掲載要領は現在機械に表示されるべき内容を基本に、①型式認可番号、②認可年月日、③事業者名（都道府県名）、④主な型式として電圧、消費電力、⑤参考となる機種名、⑥屋内用、屋外用の区分――となっている。なおちなみに54年3月15日以後は電気用品取締法施行令改正が実施され、そのため「屋内、屋外」の表示責任が明らかになった。またTVゲーム機など「電子応用」と映写装置付など「光源応用」は一般的な「電気遊戯盤」から独立したものになったのも、この年度からの特徴である。なお同年度の「光源応用」の認可数については、判断に迷うものがあったが一応以上のとおりとした。

以上の表で「電気乗物」はほとんどの定置式乗物機を示し、「電子応用遊戯器具」はブラウン管を内蔵するすべてのTVゲーム機を示している。「電気遊戯盤」は「電子応用」や「光源応用」や「電気乗物」以外のほとんどのゲーム機を示しており、その内容はパチンコ、ガンゲーム機、ドライブゲーム機、クレーン、フリッパーなどモーターやソレノイドを用いたものが多い。なお「コリント盤」とあるのはフリッパー、ビンゴのようなピンボール機を意味している。

製造（あるいは輸入）事業者は機械の出どころを意味しており、電気的な規格を維持するための設備をもったところとなっている。従ってその製品の企画・発注段階とは必ずしも一致しなかったため、一般にいうメーカー名と混同されやすいが、普通その場合は機械の表示プレートには両方の名前が表示されていることが多い。

ちなみにパシフィック工業㈱は㈱タイトーの、七尾電機㈱はアイレム㈱の製造部門を担当しており、こうした例は実際には数多いとされている。

電気用品取締法を守ることは当然のことであるが、無認可・無表示の製造・販売は違法行為として当事者が罰せられることもまた当然である。

昭和53年度中のAM関係分認可件数

月	53/4	5	6	7	8	9	10	11	12	54/1	2	3	計
電気乗物	1	1		1		3	1				1		8
電気遊戯盤	2	3		3	6	4	5	3	5		6	1	38
光源応用						2							2
電子応用	1				1	6	7	2	2	7	3	4	33
計	4	4		4	7	15	13	5	7	7	10	5	81

▼91　▼94　▼95

53年4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　54年1月　2月　3月

連続SF―68

希望(のぞみ)の島
―宇宙同時革命の結果―

有田佐市

教育（E）

広大な宇宙を漂い流浪するクシーの視界を鋭くよぎって行ったものがある。

隕石であった。

隕石

――《あまりに完璧
な燃えがらとな
ってお前の不幸
は
不吉な生物《変
[illegible]
燃えがらよ
暗黒にさからって発光
する
宇宙の秘密と
絶えず自身でない何者
かになりゆかねばなら
ない
事物の転変の
二つの原理のあいだに
踏みまよって
自身が自身である禁錮
を苛らだちの裡にうち
くだいたあまり
部分を全体に、そして
全体を部分に
変貌せしめてしまった
不思議な、名状しがた
い痕跡がそこにある。
燃えがらよ
燃えがらよ
いま在るものの来たる
べきかたちの
孤独な、小さな予言者
として横たわっている
燃えがらよ

――埴谷雄高準詩集――

クシーの脳髄では隕石の問題とヤポンの教育が孕んでいる問題とがぴったりと寸分違わず重なってきたような感じがした。

もともと教育とは単純で明快至極なものであるはずだ。社会を構成している成員が、それぞれ、自分の筋にしたがって楽しく満足しながら、より豊かなより楽しく生活が出来る社会を形成出来るようにすることである。

そういう点でセノイ族の教育が地球上ではもっとも優れていた。

セノイ族はいつも仲間で助けあい、無益な競争をしなかった。

セノイ族の仲間うちでは、盗みをはたらいたり殺しをするものはいなかった。

セノイ族は折角地球上に生を得た限り出来るだけ生活に楽しみをみつけようと努力した、それ以外の目的に要らぬ努力を決してはらおうとはしなかった。

他の仲間が楽しく生きていることが自分の楽しみにつながり、自分が楽しく生きていることは他の仲間が楽しく生きることにつながるようにその全体性が保たれていた。

そうして、そういうことはセノイ族の人たちの無意識層にまで遍(あまね)く滲透するようにセノイ族の教育は行き届いていた。

セノイ族の教育があたかもモーツアルトの音楽のように軽やかに見えない暗礁を縫うようにして海をすすむ船のような方法で成果をあげている時にヤポンではどうだったのであろうか。

他人(ひと)のことばかり

セノイ族では年長者であれば誰でも年少者を年少者のためにだけではなく自分のために、あるいは自分を含む社会のために何時何処においてでも教育するのであったが、ヤポンでは特別な場所で特別な人が行うのが教育であるかのような錯覚が強くもたれていた。すくなくとも教育の基幹部分はそうであるととられていた。

すなわち学校で教師が教育をするということになっていたようである。

教師、ヤポンにおいてかくも過大な青務を負わされている教師とはどういう動物かなとクシーはとある学校に潜入した。

時代が悪いせいか、クシーが潜入した学校では特種な女性が多かった女性には違いないのであろうが、この学校がある土地では、人人はこのような女性を、オバンとかオ・バハンと正確には呼んでいたようだ。こう呼ぶ生徒たちは勿論よくないのではあるが。

もっとも生徒からみると、これらの動物は到底まともな女性には見えないようだった。

「オイ　コラ　テメエラ」と言われて

「女性らしくない」

と薙刀が得意であるという、ドラム缶のような下品な太い下腹をしている女教師に率直に言[illegible]たばかりに、反対に女教師からくってかかられた[illegible]の毒な生徒[illegible]

これらの動物[illegible]するという[illegible]なかった。

女性が女[illegible]と言われる[illegible]とは人間が人[illegible]ことと等価[illegible]て石原吉郎[illegible]であれば、おまえは[illegible]ではなく、またおまえ[illegible]もし人間であると言[illegible]ならば私は人間ではな[illegible]のだ」と述べた決意に通底していることなどにはさらさら思い及ぶということはなかったのだ。

太るのが悪いことだと生徒たちはおもったことはない。美しく太ることは人を充分に娯しませてくれる。今更ハリウッドのヴィーナスやルーベンスの裸婦を引き合いに出す必要もないのだ。

しかし、偶偶クシーが潜入した学校では醜く黒く垂れ下ったように肥満している手合いが圧倒していた。南北をはじめとして、おお憶い出したくもないと宇宙新世紀人・クシーは呻くのであった。宇宙ではクシーの低くおさえた呻きが増幅されてあたかも猛獣の咆哮のように囂囂と轟きわたった。

悪い生徒たちがタレメとかオバケとよんでいる上瞼下垂症気味の存在とかスットコとよばれている下唇がつきでている存在とか出シャバリオヨネとか、あれは随分ふるい歌だったとクシーは苦笑する、出シャバリオヨネに手を引かれ、愛ちゃんは太郎の嫁になる、要するに出シャバリオヨネは人が嫌がることばかりしか出来ない姿なのであるのだろうかとクシーはおもった。

タレメとかスットコと[illegible]ヨネババが最近の生[illegible]は親の躾が家庭で全然[illegible]いないといって[illegible]いるのである、ク[illegible]は視野が[illegible]苦笑せざるを[illegible]スットコ[illegible]た下唇に[illegible]せいで[illegible]は全身肥[illegible]垂症の南北の影[illegible]人がみえなかった[illegible]廊下で他の人に出逢っても挨拶さへ出来ない存在なのに他人のことばかりにはよく気がつくのである。ここに今のヤポンの教育に関する大きな問題のひとつが凝縮されているとクシーはうけとった。

namco
ナムコのスーパーマシン・ラインアップ
Galaxian
ギャラクシアン
もう、あなたは
"ギャラクシアン" のとりこ
テーブル・ギャラクシアン
単独攻撃機、三機編隊攻撃機、そして要注意の特攻体当たり攻撃機。その攻撃の雨をぬって宇宙戦士〈ギャラクシアン〉は行く。
テレビゲームの本質をついた"スリル""サスペンス""ストーリー"、抜群の演出効果鮮やかなカラー画面。
いちど始めると、もう止めることはできなくなります。
もう、あなたは〈ギャラクシアン〉のとりこ。
1UP HIGH SCORE 2UP
2700 17320 5500
■縦幅 560%
■横幅 860%
■高さ 600%
調整可(+100%)
▽95-1831
■幅 630%
■高さ 1,740%
■奥行 800%
▽95-1830
★ゼロイン
ZERO IN
鮮やかスクリーン
ナムコ得意のエレメカマシン
「ゼロイン」、ジェット戦闘機の空中戦をそのままゲームマシンに。まさに空中戦の迫力を目の前に展開させてくれます。
鮮やかなスクリーン、リアルな敵機の動き、ミサイルの実感。
ナムコ得意のエレクトロメカニカルマシン、いよいよ登場です。
「ゼロイン」とは
照準の中心に、敵機がはいった瞬間のこと
それを「ゼロイン」と言います………
■幅 750% ■高さ 1,900% ■奥行 970% ▽91-13966
ボムビー
バンパーが爆発する
ビーシリーズ第2弾
テーブル・ボムビー
■縦幅 560%
■横幅 860%
■高さ 600%
調整可(+90%)
▽91-15210
■幅 630%
■高さ 1,700%
■奥行 800%
▽91-15210
フットボール
新しい主流
スポーツテレビゲーム
"フットボール"登場
■幅 1,120%
■高さ 945%
■奥行 630%
▽91-15210
「遊び」をクリエイトする
株式会社ナムコ
本社 〒146 東京都大田区多摩川2-8-5 TEL 03(759)2311(大代)
大阪事務所 〒556 大阪市浪速区新川3-630-3南大阪ビル TEL 06(649)5311(代)
★遊園施設・娯楽機械★ 企画・設計・製作・販売・経営・賃貸・輸出・輸入
★各種イベント★ 企画・制作・実施